

## 「コールドチェーン整備のための緊急無償資金協力」引渡式 (令和5年9月4日)

2023/9/4

今回の日本政府の支援により、パンデミックからの脱出への道を開くと同時に、ナミビアの保健システムのための強固なコールドチェーンを確立するための、新型コロナウイルス感染症ワクチンのサプライチェーンに関する課題が特定され、優先順位付けがなされました。

令和5年9月4日、コマス州保健局オフィスにて、「令和3年度緊急無償：新型コロナウイルス感染症の影響を受けるアフリカ諸国に対するコールドチェーン整備のための緊急無償資金協力」引渡式が実施されました。この引渡式では、UNICEFが日本政府の供与により当地医療機関に提供予定の、多種多様なコールドチェーン機器やその他のロジスティクスの紹介が行われました。

まず始めに焼却炉室にて、テープカットと焼却炉の視察が行われ、西牧大使よりニブンジュア保健・社会サービス副次官に焼却炉室の鍵を引渡しました。



焼却炉室でのテープカット





西牧大使



ヤマザヨ UNICEF 当地代表代理



ニプンジュワ保健・社会サービス省副次官

メインイベントでは、様々なスピーチや発言がなされ、西牧大使は、ナミビアに対する日本の長年の支援とその拡大について概説し、「十分な資源を確保したコールドチェーンは、医薬品やその他の製品を適切なタイミングで入手できるようにする優れたサプライチェーンを保証し、在庫の無駄を最小限に抑え、患者のケアを最大化します。受益者はナミビア国民全体です」と述べました。

ニブンジュア保健・社会サービス省副次官は、同省を代表し、ナミビア国民と子どもたちの健康状態を改善することを目的とした本プロジェクトを通じて、貴重な機材とトレーニングの寄贈を受けたことへの感謝のメッセージを日本政府に伝えました。

ヤマザラ UNICEF 当地代表代理は、日本政府の継続的な支援を称賛し、「今回の寛大な寄付や他の多くの寄付を通じて、日本政府がナミビアの医療改善に献身的に取り組んでいることは、SDGs 3 に向けた政府の取り組みを補完する上で大きな役割を果たすことは間違いない」と述べました。

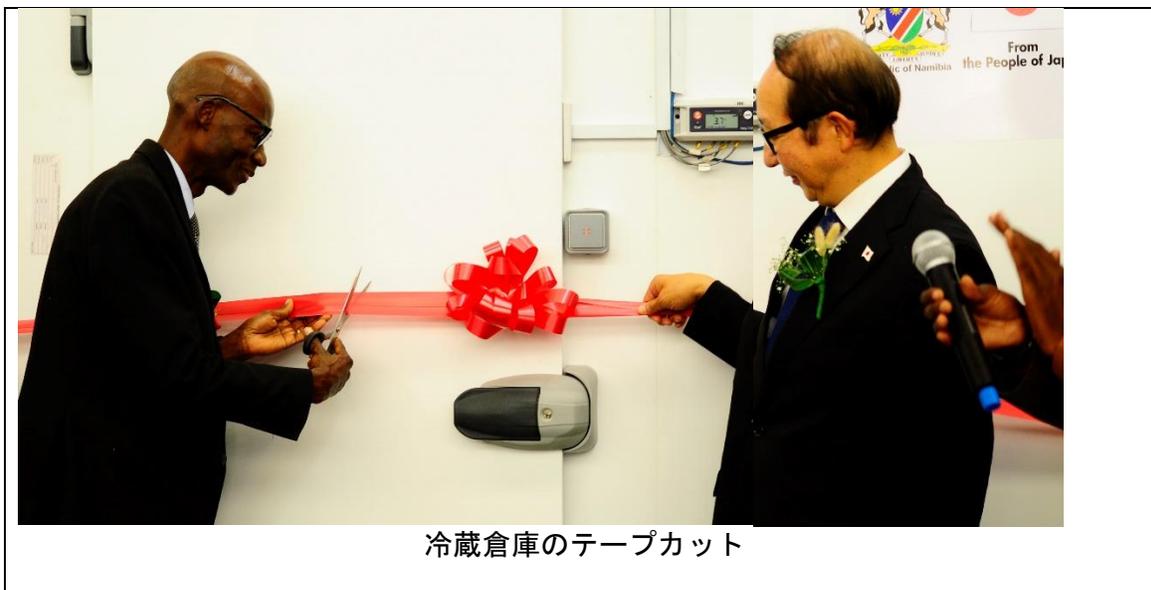
最後に、西牧大使とニブンジュア保健・社会サービス副次官は、設置された冷蔵倉庫のテープカットを行い、コマス州及び他州にも配布された寄贈機材の紹介が行われました。

【本プロジェクトで引き渡された物品】

ウォークインコールドルーム、焼却炉、冷蔵庫、ツールキットとスペアパーツ、ノートパソコン、温度監視装置、電圧安定器、超低温チェーン機器

【ナミビア国营放送（NBC）による報道ぶり】

- [JAPAN'S INVOLVEMENT IN NAMIBIA'S HEALTH SECTOR REFLECTS PROGRESS](#)
- [https://youtu.be/a\\_TyRSpPpUg](https://youtu.be/a_TyRSpPpUg)



冷蔵倉庫のテープカット



UNICEF スタッフによる寄贈機材の説明



コールドチェーン整備維持のためのツールキット



電圧安定器、ノートパソコン、超低温チェーン装置、温度監視装置